令和８年度　第３回太良町中学校再編統合検討委員会会議録（要点筆記）

日　時　令和８年８月 28 日（金）13：30～15：00
場　所　太良町中央公民館 ２階視聴覚室

出席者　委員 16 名
髙松委員長、大岡副委員長、大鋸委員、舩口委員、赤木久美子委員、口山委員、松野委員、佐藤委員、上戸委員、山下委員、赤木一成委員、熊本委員、喜多委員、森委員、西村委員、安本委員
事務局６名
岡教育長、羽鶴学校教育課長、岡指導主事、福田再編整備係長、吉開係員、石丸係員
欠席者　杉﨑委員、武富委員

1.開会　　羽鶴課長

2.委員長あいさつ
中学校の統合については、第２回の本検討委員会において、多良中学校へ機能を集約する方向でまとまった。また、昨日は太良町総合教育会議（町長、教育長、教育委員と町長が招集する関係者で構成される会議）が開かれ、この結果について教育委員会より報告がなされ、町としてもこの方向で進めることが確認されたところである。
本日の会議では、新しい中学校について、そのビジョンや学校像など、委員の皆さんから意見をいただきたい。本日もよろしくお願いする。

3.会議録承認事項
（1）第２回太良町中学校再編統合検討委員会会議録の確認及び承認
①　第２回会議録については、出席委員全員承認。
②　本会議録のホームページ掲載についても、出席委員全員承認。

4.報告事項
（1）第２回本検討委員会のグループ協議における各種意見の取りまとめ一覧について報告
・（資料）グループ協議のまとめ　　（説明　再編整備係長）
（2）太良町総合教育会議の協議状況について　　（説明　学校教育課長）
令和８年８月２７日（木）10 時から、町長をはじめ、町長部局と教育委員会との会議である総合教育会議が開催された。第２回太良町中学校再編統合検討委員会で出された「多良中学校に機能を集約するという方向性」について報告・協議がなされ、その方向で進める旨承認をいただいた。また今後の課題についても協議を行い、校舎建築については、統合中学校施設整備に係る建設検討委員会（仮称）、学校経営、校章・制服等のソフト面に関しては新しい中学校づくり準備委員会（仮称）設置の了承もいただいた。

（質問等）

大岡委員：建設検討委員会（仮称）の設置については、横の連絡とか取り扱い等はどのようになるか教えて欲しい。

→建設検討委員会（仮称）の設置時期などについては、まだ具体的に決定していない。総合教育会議の結果を議会に報告をした後に、具体的に検討を進める予定である。（学校教育課長）

→建設検討委員会の名称も仮称であり、決まっているわけではない。総合教育会議では、今後の課題として会議発足の必要性を説明させていただいたところである。
また、太良町総合教育会議には、町長からの招集要請があり、髙松委員長、杉﨑委員、大鋸委員、赤木一成委員（多良地区２名大浦地区２名）に参加をいただき、ご意見をもらった。各地区の皆さんのご意見を幅広に聞いた上で協議・検討する必要があるとの町長の判断である。（教育長）

5. 協議事項

（1）統合後の学校像づくりについて　　（説明　再編整備係長）

どのような学校ビジョンのもとどのような学校を目指していくのか、この骨格について協議を行った。

（意見等）

森委員　：本日欠席の武富校長と事前に話し合いをしたので、その結果をお伝えしたい。
- 知徳体をバランスよく育てる。自ら考え判断し、表現できる生徒。
- 思いやり、責任感、規範意識を高める。
- 体力や運動能力を高めて生活習慣、健康的に生活ができる。
- 郷土愛ふるさとを愛すること。
- 夢や目標をもって何事にも挑戦できる生徒を育てる。

熊本委員：多良中学校と大浦中学校が今まで大事にしてきたものを「受け継ぐべきもの」「変えてもいいもの」と分けて検討するといいのではないか。
佐賀県の教育大綱や教育施策実施計画からキーワードを調べ、「人とのつながり」という言葉を大事にしたい、また「未来」という言葉もキーワードとして入れたいと考えた。太良町の教育基本方針も確認し、そこには「引き寄せる」という言葉もあったので、それらを総合して、「故郷を愛し、高い志をもち、輝く未来を引き寄せる」とした。それに加えて、「人とのつながり」が入ればいいと思う。子どもたちが、今を大切にしながら未来に繋がるビジョンを掲げたいと思う。

喜多委員：地域の思いとしては、「地域の学校」という思いが強いと考える。「郷土を愛し、ふるさとを愛し誇りに思う」というのは欠かせないと思う。
また、主体性、自尊感情、仲間意識も子どもたちには大切にしてもらいたい。
未来を拓く、未来に向かって自ら歩み続けなければいけないと思う。

山下委員：校長先生のビジョンが素晴らしい。それらを踏まえ、伸び伸びと育って欲しいと感じた。

佐藤委員：目標をもって、自立を目指してほしい。あとは、校長先生方にお任せしたい。

松野委員：太良町で育ったことを誇りに思い、太良町を愛する事が大事だと思う。
あとは、校長先生に任せたい。

口山委員：今の時代は他人の目を気にしすぎる世の中になっている。これからの時代はAIやロボットと一緒に働くことになると思うので、校長先生が言われたように人とのコミュニケーションやつながり、自主的に行動できる、アイディアを出せるような環境をつくる、などの言葉がいいのではないかと思う。

赤木久委員：今の子どもたちは何でもできる環境にあるが、自分が必要とするものを選び活用しなければいけない。そのためには自分を磨く、自立する、自分の意思を持ち粘り強く進めて欲しい。すぐにキレる子どももいるので、自分で目標を持ち、頑張れるような人になってもらいたい。あとは先生たちにお任せします。

舩口委員：今の多良中学校・大浦中学校両校の教育目標にある「郷土を愛し」というように「太良町を一度出たとしても、自分のふるさとを忘れない、また戻ってきて、今度は自分たちが力になる」という子どもたちを育てていきたいとの気持ちがあると感じるので、「郷土を愛し」はぜひ入れて欲しい。強く、賢く、美しくの中には、体だけでなく心と体を強く、挑戦する力、思いやる力など、たくさんの意味を持っていると思う。強く、賢く、美しくのベースになるところは入れて欲しい。

大鋸委員：中学時代は、多感な時期であり思春期でもあるので、いろいろな葛藤が生まれるものと思う。自分を探す、自分とは何かを問う中で、郷土愛とともに自らを愛すという自己愛に戻るのではないか。郷土を思い出す事は自分に立ち返ることなのだと思う。「未来」、「表現する」、「自主性」、「自己表現」などもいいと思う。そのように思えば、校歌はこれらを基に作ってあるのではないかと感じた。

大岡委員：今の多良中学校・大浦中学校の教育目標を活かしながら、つながり・未来などを含めながら検討していけば、良い教育目標ができると考える。

髙松委員長：フィッシュボーン図を用いて、統合後の学校像をイメージ図にして提案。
（内容）
「人」「環境」「資源」「方法」の４つに関係してくることを踏まえると、「それぞれの学校の良さを受け継ぎ、誰もが安心して通い、多様な仲間と学び合い、地域とともに未来をつくる学校」になってほしいと思う。そのためには、統合前の学校が大切にしてきた伝統や強みを受け継ぎながら、生徒一人ひとりのよさや違いを大切にし、安心できる人間関係と落ち着いた学習環境を土台に、自分で課題を見つけ、仲間と考えを協働して伸び、地域の人や文化、仕事、自然から地域とともに未来を切り拓く力を育む学校を目指すことが大切だと思う。
これらを参考にしていただき、今後の新しい学校づくり準備委員会（仮称）等で決めていただければと思う。

（2）よりよい教育環境を実現するための条件整備について（校舎改築）（説明　再編整備係長）
（質問・意見等）

熊本委員：数年後、学校がコミュニティスクールになることが考えられるので、コミュニティスクールになる事を想定して、コミュニティルームを作っていただくと、地域の方も自由に集まり、学校の支援について話し合ったりできるのではないだろうか。

大鋸委員：ハード面になるが、学校でも今後デジタル機器を使う機会が多くなることが考えられる。電磁波は学校の規定にはないと思うが、アースを取り入れてほしい。電磁波で体調不良の原因と言われているケースもあり気になる。測定し数値化して、取り除く措置を検討してほしい。

髙松委員長：更衣室について、職員の更衣室は資料には示されているが、生徒の更衣室はどうなっているのか。現在、体育の授業での更衣はどうなっているのか。

→現在の更衣は、各学年以前使用していた教室を使用し、例えば、A教室は男子、B教室は女子と分けて、それぞれ着替えている状態である。(森委員)

喜多委員：トイレについては、多目的トイレを考えて欲しい。

→トイレについての資料に間違いがあったので訂正する。男性、女性、多目的トイレを作るように予定している。(再編整備係長)

髙松委員長：技術室が資料に書いてないのは、現在別棟になっているからなのか。

→現在別棟となっているため、資料には記載していない。(再編整備係長)

髙松委員長：大浦中学校の図書室がとても雰囲気が良かった。子どもも大人も立ち寄りたい、集まりたいという雰囲気の図書室だと思った。このような事も、建設時に考慮していただきたい。

→ご指摘のとおり、図書館の設計等については留意したい。(再編整備係長)

髙松委員長：職員室をアクセスフロアーにして欲しい。床に配線を埋めてしまう方式。しおさい館の事務所がアクセスフロアーになっていて、スッキリしている。タブレットも使っているだろうから、Wi-Fi も全教室完備してほしい。

→現在の職員室は、上からコンセントが見える昔のつくりになっていると思う。アクセスフロアーに関しては、今の建築ではアクセスフロアーが普通だと思う。
Wi-Fi については、全ての教室に Wi-Fi を完備する予定である。(再編整備係長)

6.その他

① 新しい制服について　　(説明　学校教育課長)

新しい制服については、「新しい中学校づくり準備委員会(仮称)」で具体的な検討を行っていく予定である。前提条件として、新しい制服を決めるには「学校名」「校章」などを先に決めることが必要になる。

プラン①令和 12 年度の開校時に 1 年生から 3 年生まで、全員が新しい制服を着る。

プラン②令和 12 年度の開校時は 1 年生が新しい制服、2・3 年生は旧制服を着る。
1 年生～3 年生の制服が揃うのは令和 14 年度以降になる。

プラン①の場合、スケジュール的に考えて厳しい状況。

プラン②であれば、スケジュール的にも余裕ができる。大浦中学校の閉校式には、全員が愛着のある自分たちの制服で迎えることができる。また、新中学校開校は令和１２年度を目指しているが、諸般の事情で開校年度がずれる可能性があり、予定を立てにくい状況である。

(質問・意見等)

山下委員：ご指摘の状況を考えると、プラン②でいいと思う。

承認事項　新しい制服については、プラン②出席委員全員承認。

→新しい制服のスケジュールについては、ベースとしてプラン②とし「新しい中学校づくり準備委員会(仮称)」で検討していく事になる。(学校教育課長)

② 子どもたちの意見を幅広く聞くことについて　(説明　学校教育課長)
学校で学ぶ子どもたちの意見を幅広く拾うことは大切だと考えている。そのため、学校名や制服など必要事項に関して適切な時期に、子どもたちにアンケートを実施するなど、検討したい。

③ 8月31日(月)１９時から大浦公民館にて、大浦小・中学校の保護者説明会を開催する予定。多良地区の保護者説明会については、更に具体的な事が出てきた段階で開催する予定である。(教育長)

(質問等)

赤木久委員：協議事項（２）のトイレについて、自動で流れるタイプか、手動で流すタイプなのか。今の家庭では全自動タイプも多く、小学生でも流し忘れが多い。中学生だから、注意したらわかると思うがいかがか。

→詳細は、先で検討することになる。自動ではないトイレもあると、社会勉強になるかとも思う。(再編整備係長)

赤木一委員：説明会も予定されているが、本検討委員会を一般の方で見たい、聞いてみたいという人がいたら参加できるのか教えて欲しい。

→今のところ、報道陣にも冒頭のみ公開にし、あとは非公開にしています。自由な発言ができるようにという理由です。ただ、いろいろな方に来ていただいた方がいいとの声があれば検討はいたします。ただ、疑問や意見がある保護者の方等については、関係の委員さんがこの委員会で代弁していただければありがたいと思う。(教育長)

赤木一委員：8月31日（月）の大浦小・中学校保護者説明会で「意見があれば委員に直接伝えてください」と事務局から言って欲しい。

→保護者説明会では、委員がおっしゃるとおり、「意見等あれば、直接委員さんにお伝えください」とお願いしたいと思う。(教育長)

上戸委員：保護者説明会を1回で終わるのではなく、適切な時、ある程度決まった段階で説明会を開催していただければ、浸透していくのではないか。説明をしっかりしていただけると助かる。

→11月頃、中間のまとめをこの再編統合検討委員会から提出いただく。まだ、中間ではあるが、その時点で多良地区・大浦地区の地域住民の方も含め、説明会を各所で開催する予定である。(教育長)

次回開催日　　**令和8年9月30日(水)13：30～　に決定**

終了　15時00分